

## プロフィール

### 石田 多紀乃 原田 愛 ピアノ・デュオ

東京藝術大学大学院ピアノ専攻出身と作曲専攻出身の異色デュオ。専攻だけでなく、性格も出身地も異なる2人が共通して大切にしているのは、時代や世代を越えてゆくもの。

何百年も前に作曲家がのこしてくれたメッセージである楽譜と忠実に向き合うことで、今生きている意味を音に発している。東京でのデビュー・リサイタルの日に東日本大震災が起きた事も有り、初年度のチャリティー・コンサートに続き、年1度の定期公演では震災遺児募金を行う一方、南砺市福野の竹田時康氏の協力を得て、1784年製フォルテピアノ(レプリカ)と現代ピアノの弾き比べコンサートを子どもたちと行うなど、音楽を通して対話する事を大切に各地で精力的に活動を続けている。

### 石田 多紀乃

東京藝術大学を経て、1992年同大学大学院音楽研究科器楽専攻修士課程修了。

音楽に対して真摯に取り組み、自然な流れと美しい響き、そして説得力の強い表現を持ち味とする。1994年より毎年プログラムを変えて東京で行っている自主企画のソロ・リサイタルは20回を数える。リサイタルでの共演、音楽祭での公式伴奏者など室内楽、伴奏での活動も多く、又故ゲルハルト・ポッセ氏指揮の神戸市室内合奏団、九州交響楽団と協演するなど、多岐にわたって活躍している。

現在、洗足学園音楽大学の非常勤講師を勤める。

### 原田 愛

東京藝術大学を経て、2002年同大学大学院音楽研究科作曲専攻修士課程修了。

在学中よりピアニスト・作曲家である野平一郎氏のアシスタントを務め、創作と演奏の両方の視点から音楽に向かう姿勢を特徴としている。

ヤマハ音楽振興会のJOC活動により世界各地で自作を演奏。ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ氏、ラファエル・フリーベック・デ・ブルゴス氏などの指揮で国内外のオーケストラと共演。アンサンブル・ヴァリエなど室内楽を中心としたピアニストを務める一方、のだめカンタービレでバソンの伴奏を務めるなど人間的な音に興味を持ち、特に子どもたちとプリミティブな音楽対話をする機会を大切に、各地で演奏会を行っている。

現在、洗足学園音楽大学非常勤講師、成城ソルフェージュ研究会講師、ヤマハ神戸センターで作曲講座の講師を勤める。

## 所沢市立松井公民館への交通案内

西武線所沢駅東口より発車のすべてのバスで【西武秋津団地】バス停下車徒歩1分

西武池袋線清瀬駅より「所沢駅東口」行きバスで【西武秋津団地】バス停下車徒歩1分

JR武蔵野線東所沢より「所沢駅東口」行きバスで【西武秋津団地】バス停下車徒歩1分

お願い：車でのご来場は駐車場が狭いためご遠慮くださるようお願いいたします。